



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社ジェイテックコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 3446 URL http://www.j-tec.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津村 尚史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 日谷 哲也 TEL 072 (655) 2785
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	297	29.3	△93	—	△93	—	△74	—
2023年6月期第1四半期	230	425.3	△114	—	△115	—	△83	—

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 △74百万円 (—%) 2023年6月期第1四半期 △83百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	△12.74	—
2023年6月期第1四半期	△14.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	3,278	2,404	73.3
2023年6月期	3,465	2,478	71.5

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 2,404百万円 2023年6月期 2,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	640	21.8	△125	—	△127	—	△93	—	△15.86
通期	2,630	37.8	540	76.1	557	53.1	358	50.4	61.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	5,873,000株	2023年6月期	5,873,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	940株	2023年6月期	940株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	5,872,060株	2023年6月期1Q	5,863,852株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束したことによって経済社会活動の正常化が進む一方で、ロシア・ウクライナ情勢などの地政学リスクが長期化し、世界的にはウクライナ情勢に伴うエネルギー・原材料価格の高騰、世界的なインフレによる各国の金融政策とそれに伴う円安進行の影響を受け、先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、オプティカル事業、ライフサイエンス・機器開発事業及びその他事業（電子科学）という報告セグメントの合計が前年同期を上回る収益を確保いたしました。

なお、当連結会計年度におきましても、売上高が下期偏重となる予定であり、当第1四半期連結会計期間においては概ね予算通りの進捗となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高297,891千円（前年同四半期比29.3%増）、営業損失93,666千円（前年同四半期は114,753千円の損失）、経常損失93,522千円（前年同四半期は115,213千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失74,796千円（前年同四半期は83,840千円の損失）となりました。

セグメントの経営成績は、次の通りであります。

(オプティカル事業)

当第1四半期連結累計期間は、国内向けや台湾（施設：TPS）等の顧客を中心に販売実績がございました。米国や欧州、中国向けに関しましては、第2四半期に納品予定の製品があるものの、例年通り売上高が下期に偏重する予定であることから、順次製造を進めてまいります。

また、X線ナノ集光ミラーの主な販売先である国内外の放射光施設やX線自由電子レーザー施設においては、通常稼働状態に回復しており、米国や欧州、一部アジア地域での営業活動も通常どおり現地における対面での営業活動を行っております。

放射光施設の新設計画が盛んな中国につきましては、日本国籍者に対する査証免除の運用停止が継続しており、渡航による営業活動が未だ再開できておりませんが、中国から来日する研究者が増加しており、オンライン会議の実施と併せて良好なコミュニケーションが維持できております。

受注状況に関しましては、米国や欧州、中国の放射光施設のバージョンアップや新設計画による大口受注も増加しており、来年より稼働が予定されている国内の次世代放射光施設NanoTerasu等の国内施設からも引き続き案件を獲得している状況であります。

市場の状況に関しましては、中国では他に類を見ない規模の放射光施設及びX線自由電子レーザー施設の新設やバージョンアップが各主要都市で進めており、特に有望な市場であると考えております。また、欧州においては中型放射光施設においても次世代へのバージョンアップ計画が進んでおり、大口受注に繋がっております。

さらに、当社の独自技術に関してX線ミラー以外の産業分野への応用を模索しており、長期成長戦略「Innovation2030」に沿った次世代半導体関連分野や宇宙分野への適用を計画しております。

この結果、売上高は89,900千円（前年同四半期比41.9%減）、セグメント損失は46,780千円（前年同四半期は3,432千円の損失）となりました。

(ライフサイエンス・機器開発事業)

当第1四半期連結累計期間は、自動細胞培養装置に関連する消耗品や装置の保守点検料などストックビジネスを中心とした販売実績がございました。当事業におきましても当期は下期に売上高が偏重する予定であり、今後下期に向けて、ライフサイエンス事業の大型自動細胞培養装置や機器開発事業の重点分野である次世代加工・研磨装置（PAP、CARE、PCVM）の販売を計画しております。

この結果、売上高は6,933千円（前年同四半期比14.1%減）、セグメント損失は37,150千円（前年同四半期は39,134千円の損失）となりました。

(その他事業)

その他事業は子会社の電子科学株式会社であります。電子科学の売上構成は、主に装置販売（TDS：昇温脱離分析装置）、装置のメンテナンス業務、受託分析業務の3つに分かれますが、当第1四半期連結累計期間は国内外の顧客に対する装置販売3台が実績として確保され、業績を牽引いたしました。

この結果、売上高は201,057千円（前年同四半期比198.0%増）、セグメント利益は69,110千円（前年同四半期比

68,498千円増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,472,112千円となり、前連結会計年度末に比べ205,203千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が168,253千円、その他流動資産が36,980千円増加した一方で、売掛金が417,226千円減少したことによるものです。固定資産は1,806,493千円となり、前連結会計年度末に比べ18,790千円増加いたしました。これは主に、のれんの償却が進んだことによって無形固定資産が11,429千円、建物及び構築物が9,340千円減少した一方で、繰延税金資産が34,091千円、機械装置及び運搬具が2,724千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,278,605千円となり、前連結会計年度末に比べ186,413千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は359,096千円となり、前連結会計年度末に比べ92,337千円減少いたしました。これは主に契約負債が32,856千円増加した一方で、買掛金が88,211千円、未払法人税等が46,627千円減少したことによるものであります。固定負債は515,397千円となり、前連結会計年度末に比べ19,279千円減少いたしました。これは主に長期借入金が18,864千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は874,494千円となり、前連結会計年度末に比べ111,616千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,404,111千円となり、前連結会計年度末に比べ74,796千円減少いたしました。これは繰越利益剰余金が74,796千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年8月10日の「2023年6月期 決算短信」にて公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	783,128	951,382
電子記録債権	1,536	2,552
売掛金	577,029	159,803
商品及び製品	33,652	28,751
仕掛品	173,008	182,282
原材料及び貯蔵品	66,643	68,043
その他	45,545	82,526
貸倒引当金	△3,228	△3,228
流動資産合計	1,677,316	1,472,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	749,218	739,878
機械装置及び運搬具（純額）	208,999	211,724
土地	340,429	340,429
建設仮勘定	20,487	21,929
その他（純額）	9,802	11,530
有形固定資産合計	1,328,938	1,325,492
無形固定資産		
のれん	349,659	339,063
その他	7,719	6,885
無形固定資産合計	357,379	345,949
投資その他の資産		
投資有価証券	17,233	17,233
繰延税金資産	66,706	100,798
その他	17,445	17,019
投資その他の資産合計	101,385	135,051
固定資産合計	1,787,703	1,806,493
資産合計	3,465,019	3,278,605

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,642	17,430
1年内返済予定の長期借入金	75,456	75,456
未払法人税等	63,494	16,867
契約負債	91,895	124,751
賞与引当金	22,675	35,378
受注損失引当金	—	110
その他	92,270	89,101
流動負債合計	451,434	359,096
固定負債		
長期借入金	521,963	503,099
役員退職慰労引当金	1,650	1,650
退職給付に係る負債	2,199	1,784
その他	8,864	8,864
固定負債合計	534,676	515,397
負債合計	986,110	874,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	828,771	828,771
資本剰余金	788,771	788,771
利益剰余金	861,917	787,120
自己株式	△550	△550
株主資本合計	2,478,908	2,404,111
純資産合計	2,478,908	2,404,111
負債純資産合計	3,465,019	3,278,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	230,324	297,891
売上原価	103,509	141,505
売上総利益	126,815	156,385
販売費及び一般管理費	241,568	250,051
営業損失(△)	△114,753	△93,666
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	2	—
助成金収入	1,500	—
為替差益	—	635
その他	38	411
営業外収益合計	1,543	1,049
営業外費用		
支払利息	892	793
為替差損	1,110	—
その他	—	112
営業外費用合計	2,002	905
経常損失(△)	△115,213	△93,522
特別損失		
減損損失	2,400	442
特別損失合計	2,400	442
税金等調整前四半期純損失(△)	△117,613	△93,965
法人税、住民税及び事業税	2,235	14,923
法人税等調整額	△36,008	△34,091
法人税等合計	△33,772	△19,168
四半期純損失(△)	△83,840	△74,796
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△83,840	△74,796

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△83,840	△74,796
四半期包括利益	△83,840	△74,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,840	△74,796
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	オプティカル 事業	ライフ サイエンス・ 機器開発事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	154,774	8,070	67,479	230,324	—	230,324
計	154,774	8,070	67,479	230,324	—	230,324
セグメント利益又は損失 (△)	△3,432	△39,134	612	△41,953	△72,800	△114,753

(注) 1. 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフサイエンス・機器開発事業」セグメントにおいて、収益性の低下に伴う減損損失を2,400千円計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	オプティカル 事業	ライフ サイエンス・ 機器開発事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	89,900	6,933	201,057	297,891	—	297,891
計	89,900	6,933	201,057	297,891	—	297,891
セグメント利益又は損失 (△)	△46,780	△37,150	69,110	△14,820	△78,845	△93,666

(注) 1. 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフサイエンス・機器開発事業」セグメントにおいて、収益性の低下に伴う減損損失を442千円計上しております。